

映画『35年目のラブレター』
実話の舞台・奈良口ヶを開く！

笑福亭鶴瓶

人々の心に感動を残した、読み書きができない夫と長年支えてきた妻の本当にあった ある夫婦の物語

平素、お世話になっております。

この度、映画『35年目のラブレター』の現場取材を実施する運びとなりました。文字の読み書きができない夫・西畠保(演:笑福亭鶴瓶)とそんな夫を長年支えてきた妻・西畠皎子(演:原田知世)。寄り添い支えてくれた最愛の妻へラブレターを送ろうと保は65歳から夜間中学へ通い始めます。新聞・テレビ・雑誌・落語といった様々なメディアで取り上げられた感動の実話です。話の元になった西畠保さんは奈良在住で、話の生まれ故郷・奈良にて撮影を行います。

つきましては、下記スケジュール(予定)にて、撮影現場取材をお願いいたく、何卒ご検討のほど、宜しくお願ひ致します。

当日の撮影進行状況によりスケジュールが変更となる可能性がございます。

■日時:3月22日(金)

<現場取材>

◇出演キャスト 笑福亭鶴瓶

◇撮影シーン S#4

寿司職人である、主人公・西畠保(演:笑福亭鶴瓶)が魚市場で魚を仕入れるシーン。

▶スケジュール(予定)

5:45 奈良県中央卸売市場××集合

※集合場所は参加ご希望の媒体様にのみご連絡差し上げます

6:00 シーン4撮影開始

～8:00ごろ 終了

◇①の取材に関する露出は撮影終了後から即時ご紹介いただけます◇

※本イベントは事前申請制です※

『35年目のラブレター』撮影現場取材(3月22日(金)実施)申し込みフォーム

<https://x.gd/201bW>



※誠に恐れ入りますが、雨天の場合や撮影スケジュールの変更などを考慮し

取材ご希望もしくは検討中の方は3月15日(金)17時00分までに申請ください※

【お問い合わせ】東映映画宣伝部 TEL:03-3535-7193 石丸(080-3607-2548)・竹内(080-1360-5376)・百瀬(080-7152-5036)

2025年3月7日(金)全国公開

【映画『35年目のラブレター』作品概要】

作品タイトル:35年目のラブレター

イントロダクション:

「僕は君に、以前ラブレターを書く約束をしましたね」

字が書けない夫が結婚35年の節目に妻へ宛てた一通のラブレター。

たどたどしくも精一杯の気持ちをこめて一字また一字……。

長年寄り添い支え合ってきた、ある夫婦の本当にあった話。

涙と笑いの実話を笑福亭鶴瓶と原田知世で映画化。

出演:笑福亭鶴瓶、原田知世

監督・脚本:塚本連平

配給:東映

公式サイト:<https://35th-loveletter.com/>

公式Xアカウント:@[35th loveletter](#)

公式Instagram:@[35th loveletter](#)

『35年目のラブレター』素材DL: <https://x.gd/JpjU8>

素材内容

- ・タイトルロゴ
- ・ティザースチール

<素材DL用QRコード>



★上記素材をご使用の際は、必ず下記テキストを記載いただきますようお願いいたします。

タイトル:35年目のラブレター

公開表記:2025年3月7日(金)全国公開

配給:東映

コピーライト:©2025「35年目のラブレター」製作委員会

※マルシードと2025の間及びカギカッコ前後はスペースなし

※数字は全て半角／数字以外は全角